

宝くじの助成金で地域活動に必要な集会施設を整備(コミュニティセンター助成事業)

コミュニティ助成事業で地域づくり

(令和4年度実施事業)

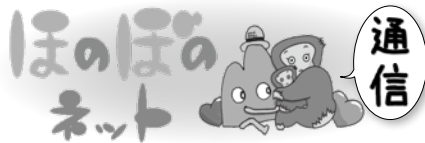
自治定住課自治振興係 ☎0824・73・1209

市内のコミュニティ組織が、宝くじを財源とするコミュニティ助成事業の採択を受け、集会施設を整備しました。この事業は、地域コミュニティ活動の促進とその健全な発展を図ることを目的に、一般財団法人自治総合センターが行う事業で、地域のコミュニティづくりに役立てられています。

このたび、集会施設を整備したのは、新市自治会(高野町)です。当自治会がこれまで使用していた集会所は、老朽化が著しく進んでおり、駐車場もなため、地域住民は新たな施設の設置を強く望んでいました。そして、今回採択を受け、集会所の設置に至りました。



実施団体名	整備内容	助成金額 (総事業費)	事業実施の成果
新市自治会	集会所(コミュニティセンター)建設	1,500万円 (6,315万円)	住民が気軽に立ち寄り、集会・行事のほか、高齢者の健康維持増進・子供の教育振興を図り、地域住民の福利増進に寄与する。



絵本を開いてみませんか?

ほのぼのネット(庄原市子育て世代包括支援センター) ☎0824-73-1214

読み聞かせて子どもと触れ合おう

子どもとの触れ合いを楽しむ方法として「おひぎにだっこの読み聞かせ」はいかがですか。絵本の読み聞かせは、子どもと向き合う豊かな触れ合いの時間になります。

家族の温かい声や肌のぬくもりから愛情を感じ、安心感の中で絵本の世界を楽しむ時間は、子どもにとってかけがえのないものです。子どもは、絵本の世界に接することで、いろいろなことに興味・関心を持つようになります。身近な人との触れ合いの中で、言葉を学び、聞く力や、表現する力など、言葉に対する感受性を育むことができます。

また、親にとっても、子どもの表情から子育ての楽しさを感じる事ができるひとときになります。子どもの反応を楽しみながら、言葉の響きや魅力に気付くこともできます。

うまく読むことや、ちゃんと聞いているかは気にせず、心に自然に届けることを大切にしながら、触れ合いを楽しんでください。

そつだ、図書館へ行ってみよう!

絵本を読んであげたいけど、どんな本がいいの? そんな時は、近くの図書館に行ってみてください。

図書館には、たくさんのおはなし会など子どもと一緒に楽しめるイベントもやっていますよ。

ホームページ

https://www.city.shobara.hiroshima.jp/main/education/shisetsu/post_290.html

お問い合わせ



図書館本館(田園文化センター内)

☎0824・72・1159

または各分館



▲おはなし会での絵本の読み聞かせ